

「電話のユニバーサルサービスに関する親子見学・説明会」を開催 ～ 親子で学ぶ電話のしくみ ～



主催者挨拶 山下情報通信部長



挨拶 長田三紀氏

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)は、ユニバーサルサービス支援機関である一般社団法人電気通信事業者協会との共催により、7月26日(金)、メルパルク広島及びNTT基町ビル等において、小学校5・6年生の親子を対象とした「電話のユニバーサルサービスに関する親子見学・説明会」を開催し、広島市内から、16組35名の親子が参加しました。

冒頭、山下情報通信部長が、「東日本大震災のとき、安否の確認、救援、復旧のため、電話が基本的な通信手段として大きな役割を果たし、電話の復旧は最優先で進められました。日本中、どこでも、電話が使えるように支えているユニバーサルサービス制度の仕組みを楽しく学んで、夏休みの思い出にして下さい。」と挨拶し、総務省の情報通信行政・郵政行政審議会委員の長田三紀氏(全国地域婦人団体連絡協議会事務局次長)は、「家庭の電話や公衆電話、困ったときの110番等の緊急通報は、皆さんの負担で支えられています。この便利な道具を使いこなしてください。今日はいろいろな電話の施設見学が用意されているので、楽しく見学して下さい。」と挨拶しました。

説明会では、ユニバーサルサービス制度の「概要説明」の後、「絆をつなぐ～NTTのユニバーサルサービス～」の映像を視聴し、質疑では、参加した小学生から、海底ケーブルを修復する方法や外国でのユニバーサルサービスの状況など多数の質問があり、理解を深めました。

また、見学会では、NTT西日本基町ビルにおいて、「移動衛星通信車」や、沢山の通信ケーブルが収容された「とう道」等を見学したほか、「光ケーブルの接続」を体験しました。その後、広島市消防局に移動し、「通信指令室」や救急車・消防車等を見学し、緊急通報の仕組みを勉強しました。

※ユニバーサルサービス制度については、以下のホームページをご参照ください。

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/universalservice/



ユニバーサルサービス制度の概要説明



移動衛星通信車 見学



通信指令室での説明



はしご車 見学

お問い合わせ先: 情報通信部電気通信事業課 082-222-3377